



読書活動 で表彰

秋の読書週間にちなみ、図書館で読書会を続けている「グループ阿賀」のみなさんが表彰を受けました。地道な読書活動が認められ、

表彰を受けた読書グループ阿賀

会では大変喜んでいました。この、グループ阿賀は、家庭をもつ主婦のみなさんが、生活の中に読書を取り入れていこうと、四年前にできたもの。現在は、月一回、図書館に集まって二十二人の会員がテーマを決めて本の中味を題材にいろいろと語りあっています。これらの活動で今回、読書推進運動協議会（野間省一会長）から表彰を受けたものです。

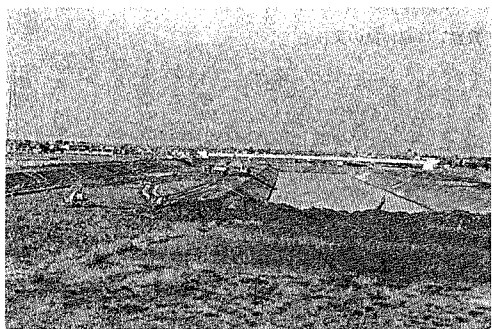
表彰は十一月の読書会で、お祝ひにかけつけた県図書館長から会長の青木さんに手渡されました。青木さんは「これからも楽しく、そして地味にやっていきたい」と抱負をのべていました。



春には、各地へ美りの旅に…

花木のメッカ・小合地区で、さきごろ「苗木おこし」の光景が見られました。写真の長井さん一家も、作業に精をだしていました。

これらの苗木はついで1年目のものだそうで、おもに二十世紀や新興といった梨や八珍柿など。冬は仮植して春には県内へ出荷されるそうです。「今年は冷夏の影響を受けて苗木の売れゆきはよくなかったです」と長井さんは話していました。



伸びる橋…走る川…

上の写真は能代分流建設工事の模様です。能代分流は、当市をこれまで幾度か襲った水害を防ごうと、大開地内から下野橋へかけてつくられる幅約百五十メートルの人工の川です。今年の夏からは、いよいよ金沢町付近から新金沢町付近の一带にかけての掘削が始まり、伸びる橋とともに水路も走り、分流の姿が日まじしに現われてきています。工事は、五十八年の暫定通水をめざして休むことなく続けられます。

体験交流

まちのニュース



市民会館で開かれた体験交流の集い

明日の 農業をみつめて

「農業とくらしを考え、豊かな農村づくりをめざそう」と、さきごろ農業体験交流の集いが市民会館で開かれました。今回はこの集いに小須戸町から十人参加。農業にたずさわっている青年婦人も含め約三百人が集まりました。午前中には意見・体験発表が行われ、伊藤藤平さん（子成場）が八人がこれまでの農業活動などを発表しました。午後からは「水田転作にとりくんで」という題でパネル討議、揺れ動く農業の中で活路を真実に話し合っていました。その後は、各地区の伝統芸能などを披露して交流会がもたれ、互いに親睦を深めていました。

お買物、ご用命は市内で

カメラ8ミリ 3回～20回払い
気軽なカメラクレジットを
ご利用下さい

(株)コダカメラ店

〒956 新津市本町二丁目 ☎(2) 0583

花に託して心を贈る
あなたの街のあなたの花店

小林生花店 新津市新町1丁目
TEL (2)1080・(2)5707

慶弔用盛花、花束、ブーケ、会場装飾花
(各流派いけばな教室案内)



1日にどのくらい 水を使うのか？

〔1人あたり平均使用量〕

- ♥飲料水…2～3ℓ ♥炊事用…6ℓ ♥水洗トイレ…30ℓ
- ♥風呂…250～300ℓ (世帯あたり) ♥洗濯用…240ℓ (洗剤1回分で10分間の水洗いをした場合) ♥自動車洗車…500～700ℓ



1日にこのタンク4基分の水が使われます

厳しい財政事情で 水道料金は 再検討の時期

水道事業の財政計画や水道料金の適正原価については、市水道事業審議会の答申を受けて、二年サイクルで見直し検討するよう提言をいただいています。

現在の水道料金は、昭和五十二年、五十三年の水道財政計画に基づいて算出されたものです。三年を経過したため、人件費や薬品費、特に大幅上昇の動力費、施設拡張のための企業債利息の増額、さらには第六次拡張事業の財源計画

などによつて、水道の原価を再検討しなければならない必要に迫られていく現状です。そこで水道局では、このたび水道事業審議会に対し、いままでの経営実態の審査と今後の経営方針や財政計画について諮問をお願いしています。一日として欠くことのできない水道をよりよくするため一層の努力を続けますが、市民のみなさんのご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、五十四年四月一日以降の全国の水道事業所の水道使用料改定状況を調べてみると、概ねそれによりまして、栃木県と埼玉県をのぞいて、用途別料金体系としては三百五十円、また口徑別料金では百五十八円、合わせて四百六十三円の水道局などで料金改正を実施しています。これらの改定は、前年度の

と、使用料は六十二円になり、これをタバコでたとえらるならマイルドセブン約七分の額です。

これを一日あたりになおすと、使用料は六十二円になり、これをタバコでたとえらるならマイルドセブン約七分の額です。

「水は天からのもらいもの」と昔から言われてきたため、家庭ではとくに水道料金が目につくようです。水道の水は、とにかく飲めればいい、というのではなく、安心していつでもどこでも飲めるものでなければなりません。そのためには、いろいろな経費がかかっています。水道料金は、適正な原価にたらず、公正で妥当なものでなければなりません。



を考える…④

—水道の使用量と料金—

一日の配水量は一万五千ト…* 昨年度、当市における水道の総配水量は、五百一十二万立方メートルでした。これを一日平均に換算すると、一万五千立方メートルの水を全市に届けたい計算になります。この数字は秋葉山にあるPCタンクに換算すると約四基分に相当します。この水量は家庭用から学校用、事業用などすべてを含んだ水の量です。

さて、一般家庭の水の使用

手間をかける 水道

現在、家庭用の水道料金は、十立方メートルで（基本水量）七、二十立方メートル。現在、新津市の一世帯構成人数は平均四人です。一人一日あたり平均の使用水量は百七十五リットルということになります。この量は、家庭用としては、全国平均的な使用水量です。

「水は天からのもらいもの」と昔から言われてきたため、家庭ではとくに水道料金が目につくようです。水道の水は、とにかく飲めればいい、というのではなく、安心していつでもどこでも飲めるものでなければなりません。そのためには、いろいろな経費がかかっています。水道料金は、適正な原価にたらず、公正で妥当なものでなければなりません。

お買物、ご用命は市内で

●クレジット3回～20回払い
カメラ・8ミリ各社新機種在庫豊富
D.P.E撮影なら安く迅速な当店へ
みんなの店

カメラのサカヅキ

本店・新津市本町4-5-6 (2)0045(代)
新町店・新津市新町1-2-29 (2)2484

駐車場完備
ほねつぎ
坂爪整骨院

新町1 ☎20062